

木更津工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	地理B	
科目基礎情報							
科目番号	0004		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	電気電子工学科		対象学年		1		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	荒井良雄ほか（2017）『高等学校 新地理A』帝国書院，630円／帝国書院編集部編（2017）『新詳高等地図』帝国書院，1345円。						
担当教員	小谷 俊博,今山 正幾						
到達目標							
アジア全体を宗教、民族、言語の側面から把握するとともに、各国（東南アジア、韓国、中国）の社会、文化について詳しく知る。ASEANについて理解を深める。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目 1	ある問題について十分な理解度に達しており、自分で判断し、積極的に意見を述べるができる。		ある問題について一定の知識はあるが、ごく標準的な理解度にとどまっている。		ある問題について知識が不足しており、それゆえ標準的な理解度に達していない。		
評価項目 2	ある問題を他の幾つかの問題とむすびつけることができ、多角的な思考ができる。		ある問題を他の幾つかの問題とむすびつけることができる。		ある問題を他の問題と結びつけることができない。		
評価項目 3	ある問題の解決策に関する知識が十分にあり、かつ自分の考えを進めることができ、アイデアを提出できる。		ある問題の解決策に関する知識はあるが、自分の考えをあまり進めることができない。		ある問題を他の問題と結びつけることができない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	宗教、民族、言語について詳しく説明する。各国の社会、文化では、時事問題も積極的に取り上げる。						
授業の進め方・方法	講義を中心に授業を進めていくが、学生の積極的な参加を促すために、発表、討論、グループ活動なども随時取り入れる予定である。教材は教科書、地図帳、配布プリントのほか、雑誌、新聞、インターネットの記事なども用いる。						
注意点	時事問題を頻繁に取り上げるため、普段から新聞、テレビ、インターネットにより社会的ニュースに接しておくことが望ましい。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	アジアの国々：概説 1		アジアの民族、宗教、言語について理解する。		
		2週	アジアの国々：概説 2		アジアの民族、宗教、言語について理解する。仏教、イスラム教について知る。		
		3週	ASEAN		ASEANの組織と意義について理解する。		
		4週	マレーシア		各国の社会、文化を理解する。イスラム教について知る。		
		5週	シンガポール		各国の社会、文化を理解する。		
		6週	インドネシア、ブルネイ・ダルサラーム		各国の社会、文化を理解する。		
		7週	ベトナム		各国の社会、文化を理解する。仏教について知る。		
		8週	タイ		各国の社会、文化を理解する。		
	4thQ	9週	ミャンマー		各国の社会、文化を理解する。		
		10週	カンボジア、ラオス		各国の社会、文化を理解する。		
		11週	韓国 1		各国の社会、文化を理解する。		
		12週	韓国 2		各国の社会、文化を理解する。		
		13週	中国 1		各国の社会、文化を理解する。		
		14週	中国 2		各国の社会、文化を理解する。		
		15週	人口問題、食料問題		人口問題、食料問題について理解を深める。		
		16週	資源・エネルギー問題		資源・エネルギー問題について理解を深める。		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	40	0	0	0	0	0	40
専門的能力	30	0	0	0	0	0	30
分野横断的能力	30	0	0	0	0	0	30